

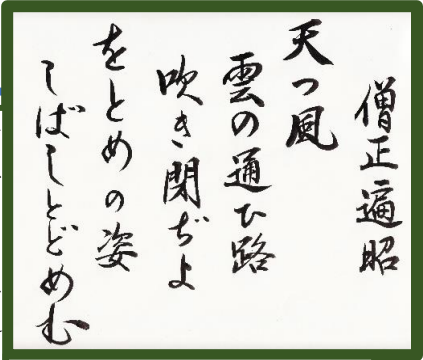


学校の行事だよ

2019 令和元年 11月 November (霜月しもつき)

福島県立相馬農業高等学校
PTA 広報委員会

| 日 | 曜日 | 行事予定 | | |
|-------|----|--|---|---|
| 1 | 金 | 授業公開⑤⑥ | 「生徒が先生」③～⑥(食科) 学友会役員選挙公示 | |
| 2 | 土 | 全経文書処理能力検定 | | |
| 3 | 日 | 文化の日 | 南相馬市あきいち2019 (インターアクト・農業クラブ) | |
| 4 | 月 | 振替休日 | ロボットプログラム講習会(本校) | |
| 5 | 火 | | | |
| 6 | 水 | 外部講師授業⑥(3学年) | インターンシップ(2学年)～8 | |
| 7 | 木 | | | |
| 8 | 金 | | | |
| 9 | 土 | 秘書検定 | インターアクトクラブ猪苗代湖水草回収作業 | |
| 10 | 日 | スクーリング | | |
| 11 | 月 | 学力診断テスト①②③ | 外部講師②～④(3-3) GAP福島復興マルシェ～13(東京) | |
| 12 | 火 | 近畿大学講演14:00～ | イノベ人材ドローン講習会⑤⑥(2-2) | |
| 13 | 水 | 40分授業 | 学友会立会演説会・選挙⑥ 服装頭髪指導⑦ | |
| 14 | 木 | | japanknowledge.com/introduction/keyword.html | |
| 15 | 金 | 相農ショップ⑥ | 勤労感謝の日 11月23日 「勤労をたつとび、生産を祝い、国民がたがいに感謝しあう」 国民の祝日。1948年(昭和23)制定された。 その前は国の祭日で、天皇が新穀を天神地祇(てんじんちぎ)に勧め、自らも食する新嘗祭(にいなめさい)という祭事の日であった影響で、この日はいまでも農業関係者の祭典の色彩が濃くみられる。 [森脇逸男] ©Shogakukan Inc. 日本大百科全書(ニッポニカ) | |
| 16 | 土 | ふくしままつり(上野)～17 | | |
| 17 | 日 | | | |
| 18 | 月 | イノベ企業見学会 | | |
| 19 | 火 | 福島商業高校生来校⑤⑥(生環) | | |
| 20 | 水 | 外部講師授業⑥(3学年) | | |
| 21 | 木 | | | |
| 22 | 金 | | | |
| 23 | 土 | 勤労感謝の日 | 十二 僧正遍昭(ソウジョウヘンジョウ) 【原文】 天つ風 雲の通ひ路 吹きとぢよ 乙女の姿 しばしとどめむ (読み) あまつかぜ くものかよいじよ おとめのすがた しばしとどめん 【訳文】 空を吹く風よ、雲の中にある、天女の通り道を塞いでおくれ。乙女の姿をもうしばらくの間とどめておきたいのだよ。 | |
| 24 | 日 | 食生活アドバイザー検定 | | |
| 25 | 月 | 外部講師②～④(3-3) | | |
| 26 | 火 | | | |
| 27 | 水 | 期末考査～12/3 | | |
| 28 | 月 | | | |
| 29 | 火 | | | |
| 30 | 水 | | | |
| その他 | | 登下校指導 | | |
| 来月の予定 | | 12/ 3 基礎学テスト③ 12/ 4 職業インタビュー(1年) 12/ 6 相農ショップ⑦ 12/12～13 校内球技大会 12/14 日本農業技術検定 12/15 県総文祭活動優秀校公演 12/19 成績不振者生徒保護者会、午前中授業 12/20 終業式、12/21～1/13 冬季休業 12/25～26 冬期リーダー講習会 12/27 仕事納め(12/28(土)から1/5(日)まで年末年始休業です) | | 百人一首(全) が ともこ 知子 = 編 平成24年4月15日 発行 発行者 山下直久 発行所 株式会社角川学芸出版 |



【解説】
この歌は、出家前の殿上人時代に、五節の舞姫(ごせちのまいひめ)を天女に見立てて詠んだ歌である。五節の舞姫は、大嘗会・新嘗会の後行われる豊明節会(とよあかりのせちえ)で舞を舞う少女のことで、公卿・国司級の家柄の娘四、五人が選ばれた。「雲の通ひ路」は、舞姫たちが退出する通路を、天女が天と地の間を行き来するときに通る路(みち)に見立てた表現である。